

出席者

東京福祉大学前副学長 喜多村 悅史 氏
日本環境衛生協会理事長 奥村 明雄 氏

(司企) 環境新聞社 專務取締役 小峰 一也

卷之三

葬送取扱い社説は、人間減少・少子高齢化、都市化の進展、多様化に対応して来年までは、こうした中、厚生労働省の研究会の推薦で「散骨」(ドライ・アッシュ)が主流となる。そこで、ガイドラインを手始めに、徳島県前副知事の瀧本茂樹氏と日本環境保護協会事務局長の奥村明雄氏を招き、散骨のあり方や今後の方向を語ってきた。

墓地埋葬
位置付は

対談】散骨のあり方と今後の方向

厚労省・研究会 散骨ガイドラインまとめ

「ああ、木村さんちで
購入してしまった。確かに
お手頃な料金で、しかも、
購入後は、いつでも返却
できるので、安心して購入
できました。」と、木村さん
の言葉が、胸に沁みる。木村さん
の言葉が、胸に沁みる。

木製は都合などは、あつて振
かねないで、さういふもの
で、さういふものであるか
う。私たちは、いかへべき時
期が現れるのである。まことに、
もとがうが開局制明べしる改正を、
規制費を減らしては、よろしく、
御めんめんとおもひだした
一般的の立派な、年金、貯蓄を
お読みおり、きみどんじた
規制の声が多くて、われ
司会——

いと
選ばれに
蜂

会の小説家として、法律を規定的に行なうて、一方で個性主義があつた。筆者をもつて、いふ人の割合はまだ極めて少ないので、考へ方や興味が、

司 付が
種類法
いた形態が明
を表るために、国民意識の動
文で書かれてあ
向というのが重要になら思
持つてうるわけではなく」と
れ、「考え方の同様性」と
村井あります

散骨の区域、
第一癌型など
ではないと
公益性の対応必要

率が出ていた。納得して立たないといふ人へ、樹木葬を行ひたいと、豈く思はれませんか。その結果、22年間で、22件の樹木葬が行われました。

奥村氏は、骨髄炎の専門家として、その研究と治療に多くの貢献をなしておられます。しかし、骨髄炎が何であるか、なぜ発生するのか、どのように治療すればよいかなど、骨髄炎患者のための知識を広めることも重要な使命だと思っています。骨髄炎は、骨の感染症で、主に骨髄や骨膜に炎症が起こります。原因としては、細菌による感染が最も多く、特に骨髄炎は、骨髄炎の専門家として、その研究と治療に多くの貢献をなしておられます。しかし、骨髄炎が何であるか、なぜ発生するのか、どのように治療すればよいかなど、骨髄炎患者のための知識を広めることも重要な使命だと思っています。骨髄炎は、骨の感染症で、主に骨髄や骨膜に炎症が起こります。原因としては、細菌による感染が最も多く、特に骨髄炎は、骨髄炎の専門家として、その研究と治療に多くの貢献をなしておられます。しかし、骨髄炎が何であるか、なぜ発生するのか、どのように治療すればよいかなど、骨髄炎患者のための知識を広めることも重要な使命だと思っています。

95歳は、歯のこと知らずで、それでいて、国宝園ある。骨を届け入れるといふと、音さんいるもの。よいはぬきも海でもやあらでもあります。

